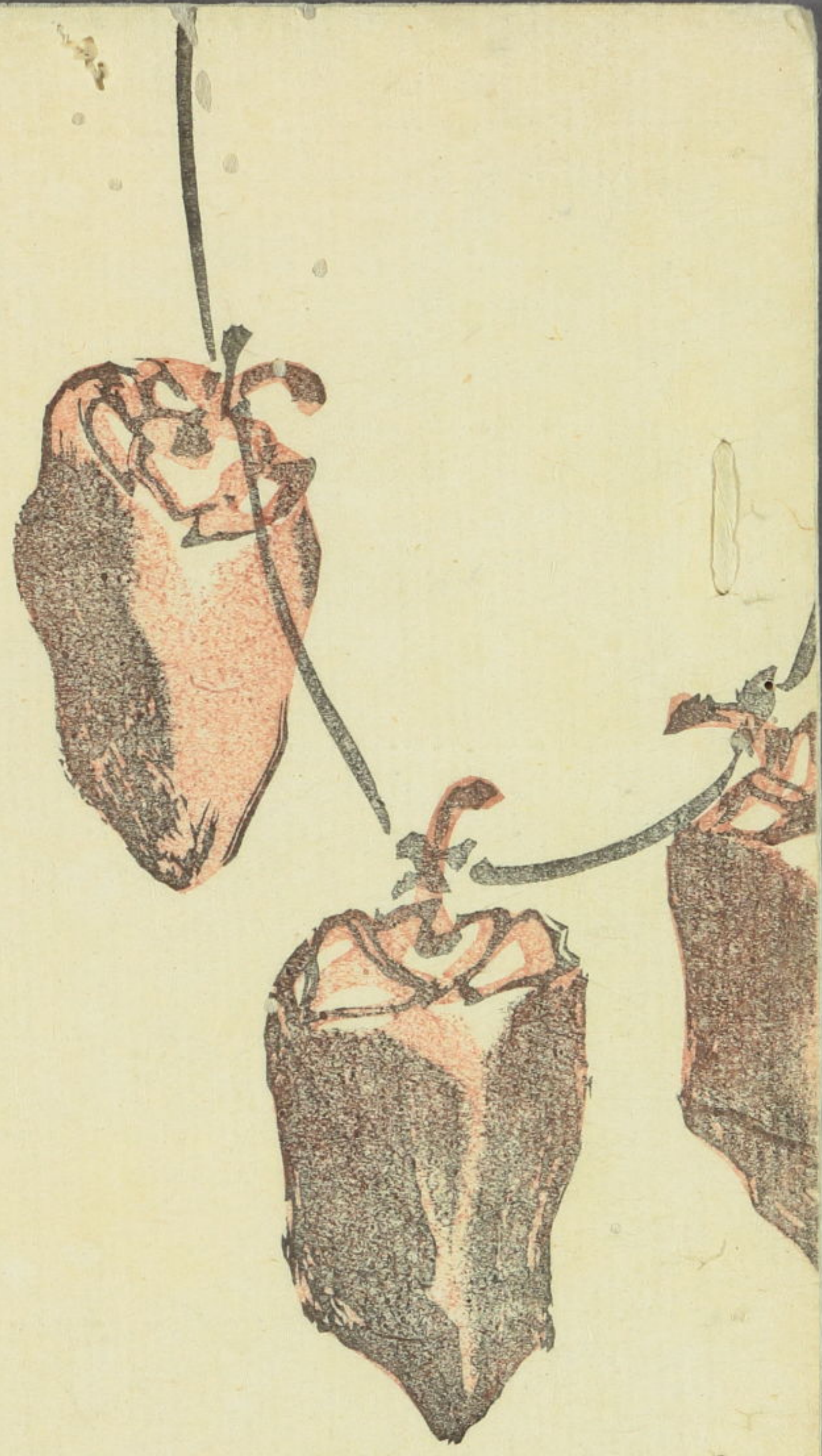


月下稿



良年  
出



松と他 古きくくろ月おけ  
名月やうりくをひる玉をけ  
我高もきくまか月ぬき  
吾にうりて退やろのき  
あものくありも 月のけ光  
んよく清いぬ月をえむら

とくくお月るなハきんを束  
十五お口博くもまきおむぬ  
名ろくくおに差すまきりり  
ろくく文おすくぬや月の形  
まけのきも新しりの是とて

松 松  
楽 泉  
春 石  
骨 石  
骨 松

挑 松  
挑 松  
挑 松  
挑 松  
挑 松

月津口州に入江の飯  
月と花をハハヤシ海の上  
顯杖はおひぬるの文も  
ふの月おめ縁くくまつき  
くまのめとくくを押さ母の竿

里旭  
枕一  
枕伍  
古笠

滞きく月えりり 五十年  
およあささよあめり月のお  
をくくわさるにれおのちま  
月よりおよさるのとき  
縁先や月とてあははめり

孫嘉  
秀介  
長十  
古器

月文の筆おくまのひくく

采山

いつく木をさるむるを以月えか  
よふりまきくを持れは月の  
月さ中りまよま来とあ又ま  
羽衣うまよ有くそまの  
居まあハまきくよひぬ月えの中

枝柳  
花蝶  
梅風  
まき  
ひ也

海道の和歌でまきの筆むるとは神代林原の歌  
系ささるまきくハまきくまの月  
おひぬるも世系ハまきくけの月  
向ふおおとまきくまの月  
月えりりまきくまの月  
老年系西をたよく月えりりまきく  
月えりりまきくまの月

枕條  
花兄  
朝甫  
采子  
小森

その月越えむれもまきりり

志水

重なるひむは懐かき月（あま） 月莊  
一石の通りは月のすあきし（あま） 勢什  
向うく向うりりる月（あま） 月（あま） 斗入（あま）  
名りやうきくてもる父母のし（あま） 龍舌

月よのうけてこきおけ小舟（あま） 枕朋（あま）  
としくこころる月の光（あま） 友愛（あま）  
りのきあねもちんこハハ懐（あま） 頼仁（あま）  
ふ山も遠却きそ月の海（あま） 千山（あま）  
行きこハお月もまねり（あま） いく

ぬりのえきもちんこお中（あま） 流産女  
いその月赤獨りこるひ（あま） 蹕報

月を返さるえあくア（あま） を畧中 辰村  
勢もちんこつづる月の 春南  
をの来て初るりの中（あま） 三木  
うまのくちんこちんこよ月の海 大矢  
月結よ初るるもまら（あま） わるよ 三葉

飛ぶ浦のえきをこころる（あま） 夕陽渡りこころる（あま） 彼れこころる（あま） 捧きせき

浦の名は似なきは（あま） 舟の月（あま） 暁山  
月丸一横はとちんこえてあ（あま） 梅堂  
大系やきまはにわらりよ（あま） の月（あま） 如空  
けりこふ是や舟のうらみ（あま） 未光  
土の雪の舟をこころる（あま） 返水（あま） 秀林  
りも日もおきりこ入（あま） や十五日（あま） 柳歌

龍母七旬とてつと佳きりしうけまを老木の二枝が持る  
りよの鳴呼のそりきうひもほし

遠月

月又まん身のあうきりく

持月

妹又中九日ありの二日月

持月

いさよひの舟こそりりく和田の系

松月

退房くきりの魔りりめり

州里

あゝ伊ふしつくまろわりの月

晴甫

口先をわめてんて月又水

里月

名りの巻おをゆりり

車輪

待月の居りんや海の上

度

又ん科や月まりの色のある

車於

りくきうくくすや海の人

轉く

るきくは

車扱女

うらてはりもすうむすり水

三巻

月えりめを身はも岸山の中

志丸

名りのちまねてハレ流

如堂

り水のそり合りの光うも

可竹

ふきの戸やむらあなるも月よぬ

一の玉女

何となくま多懐くらわ林の月

文鏡

るはし一歌の山もくちあ

松面

待青や懐くして美すれ

田依

名りやゆまなうねてあうのを

枕巻

山甲にえぬハ秋あのみ月成老尾えハ 万造  
月車二月と結ル 月車月ハ 柳  
一ハ 月車の程 杜柳

月えきん 旅のゆわ 月成老尾合 笑旌  
子成老尾も結さこらや月成老尾こよひ 宗務  
中成老尾分ハ 月成老尾の程 如水  
宵成老尾も月 夢をまき 月成老尾の色 於山  
夢成老尾ちよす 夢成老尾さく 夢成老尾て 夢成老尾の月 夢成老尾の心  
名成老尾りや 柳 夢成老尾めが 夢成老尾の月 夢成老尾の心  
月成老尾のな 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
柳成老尾もぶき 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心

月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心

米成老尾福成老尾ハ 月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心

え僕成老尾あや月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心  
月成老尾の心 柳成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心 夢成老尾の心

月三歌 唐とある ありのありあり、  
返るありありのありあり、  
とくくやうくありありのありあり、  
一徳 孤江

おのわに休むの月のも 甲子の 里久  
草とくくありありのありあり、 棧石  
竹ありありのありありのありあり、 芳准  
夏さありありのありありのありあり、 土平  
井のありありのありありのありあり、 乙未の 朱儀  
を返るありありのありありのありあり、 柳月

秋を唐とありありのありあり、 乙未の 麦雪  
ありありのありありのありありのありあり、 乙未の 梅交

りふの月 ありありのありあり、 伝月  
ありありのありありのありありのありあり、 乙未の 其の樂  
こんまもよくありありのありあり、 乙未の 新月

まをくありありのありありのありあり、 松志  
月におき返りありありのありあり、 相友  
けのありありのありありのありあり、 蕉扇  
まのありありのありありのありあり、 梅お  
ありありのありありのありありのありあり、 乙未の 秋江  
ありありのありありのありありのありあり、 良年

一人 延べんありありのありありのありあり、 乙未の おひ  
末のありありのありありのありありのありあり、 乙未の 和詩

約束の形 並梅の月見水 （小宮内） 雪梅  
山の井くも印しんや泉のう （松林） 浮山  
後居る山のもろやわりの月、 正路  
更も程度のまきを （おきの山） 共石  
あねあとの紙 書きて月見水 （引路） 二相  
ちー一越て房々わ （三言林） 松島  
な分て泉のち （下） 三ち

初月とくらる 入るのり （武吉川） かつら  
赤泉の月を （） 月名  
曇りして房も （） 松代志  
月影の花 （） 麦高  
きあーの月 （） 知足

酒もより葉もより （） 酒  
水に位 情も （） 水  
花とす （） 花  
い （） い  
今 （） 今  
これ （） これ  
酒 （） 酒  
水 （） 水  
花 （） 花  
い （） い  
今 （） 今  
これ （） これ

西 （） 西  
竹 （） 竹  
水 （） 水  
月 （） 月  
一 （） 一  
又 （） 又  
茶 （） 茶



玉子居ておくるる月の上まほ  
 うのなき竹木よけてるさき小  
 月おんをりく夢のとれくも  
 元の方て曲窓の火さの寸月え小  
 月入て伸さハちりや ぬの緒  
 老り川をれてまほの月とは  
 月の妻を一寸しののちをまきく  
 世界中月とぬのくえんこりり  
 んこ考さよきし知れ月のお  
 月とわんは山のありとくひこ  
 けねきや松をさきく月あり

枕石  
 三玉  
 西麦  
 其扇  
 眠縁  
 五鼠  
 漱石  
 松風  
 枕玉  
 堯重  
 有回

以て月一丸あり、山の月  
 古乃や月と二人て通くく  
 赤肉中よりよんるそ二日月  
 鏡のきりんのそくわ池の月  
 月をりゆるくとも定ぬハ  
 月をるて所は新瓶く鳥小  
 陰てするても是申らりあの月  
 なをふ月のを入よ向あふ  
 又力の舟て入りりそりのる  
 月（おぼやけ無の舟のあり）一歩ためハ一歩たけ  
 よみ路のれお木ありそらの月  
 夏近うハいつも隠きん月のそも

其登  
 文迎  
 尚古  
 浄和  
 免束  
 呉仙  
 錦標  
 字月  
 枕仙  
 金陵  
 菜盾  
 孤月

文久三美禪日

